

日本臨床検査専門医会

平成 25 年度第三回全国幹事会議事録

平成 25 年 10 月 31 日

日本臨床検査専門医会 平成 25 年度第三回全国幹事会議事録

開催日時：平成 25 年 10 月 31 日（木）11 時 00 分～12 時 00 分

開催場所：神戸国際会議場 4F 403 （第七会場）

出席者：佐守 友博会長、木村 聡、小柴 賢洋各副会長、池田 均、
菊池 春人、北島 勲、佐藤 尚武、高木 康、東條 尚子、
渡邊 卓各常任幹事、河野 誠司、幸村 近、佐藤 麻子、
清水 力、藤原 久美、松尾 収二、松永 彰、三井田 孝、
村上 純子各全国幹事、土屋 達行監事

欠席者：下 正宗、米山 彰子各常任幹事、安東由喜雄、大谷 慎一、
尾崎由基男、末広 寛、杉浦 哲朗、諏訪部 章、田窪 孝行、
船渡 忠男、宮地 勇人、盛田 俊介各全国幹事、高橋 伯夫監事

事務局：市川 綾子（敬称略）

定刻、佐守 友博会長挨拶の後、議長として佐守 友博会長を満場一致で選任した。議長は議長席につき開会を宣した。

審議事項

第一号議案 議事録署名人選任について

議長は本会の議事録署名人の選出を議場に諮ったところ満場一致をもって次のものを選任した。

議事録署名人 松尾 収二、三井田 孝各全国幹事

第二号議案 平成 26 年度予算案について

議長は、平成 26 年度予算案について、その詳細を東條 尚子庶務会計幹事に説明させた。支出で、今年度執行できない要覧印刷代を平成 26 年度に計上したと説明があった。以上を議場に諮ったところ、全員異議なく承認可決した。なお、予算案については、本議事録の末尾に添付する（資料 1）。

第三号議案 有功会員の推薦について

議長は、箕浦 俊夫先生の有功会員推薦について、その詳細を渡邊卓資格審査・会則改定委員長に説明させた上、これを議場に諮ったところ、全員異議なく承認可決した。

報告事項

1. 会長・監事選挙について

議長は、三宅 一徳選挙管理委員長に代わり、東條 尚子庶務会計幹事に、平成 26・27 年度の会長および監事選挙の結果を報告させた。

記

会長 佐守 友博
監事 土屋 達行
高木 康 (敬称略)

以上

2. 平成 25 年度中間会計報告

議長は、東條尚子庶務会計幹事より、平成 25 年度中間会計報告（1 月 1 日から 9 月 30 日まで）について報告させた。収入においては会員会費の納入率が 78% と低い。未納者には、再度、会費請求を行う予定である。支出では、振興セミナー経費で予算額を超えた以外はほぼ予算案のとおりと説明があった。なお、中間決算報告については本議事録の末尾に添付する（資料 2）。

3. 各種委員会ならびにワーキンググループ報告

① 情報・出版委員会

池田 均情報・出版委員長より報告があった。LabCP 31 巻 2 号のテーマは、「超音波検査の報告書作成：臨床検査専門医の役割と実践」として準備中。また、また、臨床検査振興セミナー会員アンケート集計報告の執筆を木村聡副会長にお願いしている。JACLaP News、JACLaP Wire は順調に発刊している。

② 教育研修委員会

菊池 春人委員長より以下の報告があった。第 60 回日本臨床検査医学会学術集会において、「臨床検査を学ぶ若手医師の集い」を日本臨床検査医学会（教育委員会委員長 山田俊幸先生）と当会が共催して開催する。専門医数増加方策検討ワーキンググループが中心となって協力する。

③ 資格審査・会則改定委員会

渡邊 卓資格審査・会則改定委員長より、特になしと報告があった。

④ 渉外・広報委員会

木村 聡渉外・広報委員長より、平成 25 年 7 月 19 日（金）東京ガーデンパ

レスで行われた第 30 回臨床検査振興セミナーについて報告があった。約 80 名（うち専門医会正会員約 20 名）の参加があり、質疑応答など盛況であった。

⑤ 保険点数委員会

佐藤 尚武委員長より以下の報告があった。平成 26 年度診療報酬改定に向け、内保連を通じて厚生労働省に提出した提案書は、下記の 11 項目であった。なお、生理検査管理加算（未収載項目）は、内保連のヒアリングの結果を受け提案を取り下げ、トレッドミルによる負荷心肺機能検査・サイクルエルゴメーターによる心肺機能検査（既収載項目）は、日本心臓病学会の提案書に一本化した。8 月 5 日（水）に厚生労働省によるヒアリングがあり、「血液採取」および「蛋白分画（生化学検査）の増点および包括規定の見直し」の 2 項目について説明した。「血液採取」については厚生労働省側からの要望に応じて後日追加資料を提出した。また、内保連より厚生労働省に対し、「生体検査に関する提言書」ならびに「病原微生物遺伝子検査について（検討のご依頼）」を 8 月 23 日（金）に提出した。

記

日本臨床検査専門医会から厚労省に提出した提案書

既収載項目

1. 皮膚還流圧測定検査 (SPP) (項目設定の見直しと増点)
→ 日本臨床検査医学会、日本循環器学会、日本動脈硬化学会、日本皮膚科学会、日本血栓止血学会との共同提案
2. 血液採取 (増点)
3. 蛋白分画 (包括対象項目からの除外)
4. シスタチン C (適応拡大)
5. 終夜睡眠ポリグラフィー (増点)
6. 悪性腫瘍遺伝子検査 (増点)
7. 血液細胞核酸増幅同定検査 (増点)
8. Major bcr-abl 核酸増幅精密測定 (増点)
9. UDPグルクロン酸転位酵素遺伝子多型 (増点)
10. サイトケラチン (CK) 19mRNA (増点)
11. WT1 mRNA 定量 (増点)

⑥ 専門医数増加方策検討WG報告

三宅 紀子 WG 長に代わり、木村 聡副会長から以下の報告があった。臨床検

査専門医を広く理解してもらうため、本会ホームページに「ぼくらは臨床検査専門医」という企画を立ち上げた。現在 7 名分だが、今後掲載を増やしていきたい。

村上 純子全国幹事から、非常によい企画なのに閲覧の入口が日本臨床検査専門医会ホームページだけなので、もっと見てもらえるようリンクを広げてはどうかとの意見があった。

これに対し、佐守 友博会長より、内容を読んでも面白い。タイトルをつける、HP の改訂を行う、リンクを貼ってもらうなどしてもっと読んでもらえるよう努力する必要がある。日本臨床検査医学会、臨床検査振興協議会、各大学検査部あるいは検査医学等の HP にリンク協力をお願いしたいと提案があった。

⑦ 専門医別ネットワーク構築のための WG 報告

佐守 友博 WG 長より、会員に対して行うアンケートを作成中との報告があった。運用法の詳細については、次回の全国幹事会・総会で報告する。

4. 第 24 回春季大会について

清水 力第 24 回春季大会大会長より、下記の報告があった。

記

開催予定日： 平成 26 年 5 月 30 日、31 日

開催場所： 北海道大学医学部学友会館 「フラテ」

以上

5. 「全国検査と健康展」(技師会主催)からの協力要請について

佐守 友博会長より、以下の報告があった。今年度は、4 都府県から検査説明に携わる医師派遣の協力依頼があり、すでに、東京都技師会(10 月 26 日)4 名、京都府技師会(10 月 26 日)3 名が参加した。今後、兵庫県技師会(11 月 3 日)3 名、群馬県技師会(11 月 16 日)3 名が参加予定である。今回は事前の打ち合わせが不十分であったことが反省点としてあげられる。来年はより多くの派遣が要請される見込みであり、いっそうの協力をお願いしたい。

松尾 収二全国幹事より、奈良県は複数の臨床検査専門医が技師会の顧問となり協力している。同様な仕組みを作っていける都道府県があればよいと考える、との意見があった。

6. その他

松尾 収二全国幹事より以下の意見があった。日本人間ドッグ学会学術集会（平成 25 年 8 月 29 日、30 日、浜松）では初めての試みとして、パネルディスカッション「検査値の読み方」（本田 孝行先生、松尾 収二全国幹事）が開催された。学会参加者は非常に熱心で反響が大きかった。「検査値の読み方」の企画案について、当会から他学会にもっと積極的にアプローチしてはどうか。

佐守 友博会長より、他学会との合同企画は積極的にすすめる方針としているが、よりいっそう積極的に働きかけたいとの発言があった。

以上をもって全議案の審議並びに報告を終了したので、議長は閉会を宣し解散した。

議事録署名人

平成 25 年 11 月 19 日

松 尾 収 二

平成 25 年 11 月 25 日

三井田 孝

平成 26 年度予算案

		項 目	平成 25 年度予算	平成 26 年度予算案	
収 入	会費	会員会費	6,595,000	6,670,000	
		賛助会員会費	3,900,000	3,900,000	
		小 計	10,495,000	10,570,000	
	その他	広告収入	600,000	400,000	
		教育セミナー参加費	300,000	500,000	
		生涯教育講演会参加費	200,000	100,000	
		振興セミナー参加費	100,000	100,000	
		利息その他	15,000	15,000	
		小 計	1,215,000	1,115,000	
	入金合計		11,710,000	11,685,000	
	支 出	庶務経費	事務局雑費	150,000	150,000
通信費(事務局)			170,000	170,000	
人件費			1,800,000	1,400,000	
FAX 使用料			40,000	60,000	
会員登録			10,000	10,000	
事務所維持費			1,570,000	1,700,000	
設備費			150,000	150,000	
小 計			3,890,000	3,640,000	
事業経費		印刷代	2,200,000	2,000,000	
		要覧印刷代	550,000	550,000	
		通信費	1,000,000	1,000,000	
		春季大会補助金	500,000	500,000	
		臨床検査振興セミナー費	850,000	900,000	
		教育セミナー費	850,000	850,000	
		会議費	1,000,000	1,000,000	
		交通費	70,000	70,000	
		宿泊費	20,000	20,000	
		原稿料	100,000	100,000	
		HP 維持費	170,000	170,000	
		JCCLS 会費	50,000	50,000	
		WASPALM 会費	40,000	45,000	
		臨床検査振興協議会	300,000	300,000	
		内保連	100,000	100,000	
		予備費	20,000	390,000	
		小 計	7,820,000	8,045,000	
		出金合計		11,710,000	11,685,000

平成 25 年度中間会計報告(平成 25 年 1 月 1 日～9 月 30 日)

資料 2

		項目	予算額	執行額	予算額と執行額の差		
収入	会費	会員会費	6,595,000	5,175,000	-1,420,000		
		賛助会員会費	3,900,000	3,700,000	-200,000		
		小計	10,450,000	8,875,000	-1,620,000		
	その他	広告収入	600,000	170,996	-429,004		
		教育セミナー参加費	300,000	500,000	200,000		
		振興セミナー参加費	100,000	112,000	12,000		
		生涯教育講演会参加費	200,000	114,000	-86,000		
		利息その他	15,000	2,671	-12,329		
		小計	1,215,000	899,667	-315,333		
	入金合計			11,710,000	9,774,667	-1,935,333	
支出	庶務経費	事務局雑費	150,000	132,993	17,007		
		通信費(事務局)	170,000	91,296	78,704		
		人件費	1,800,000	904,420	895,580		
		FAX 使用料	40,000	34,618	5,382		
		会員登録	10,000	0	10,000		
		事務所維持費	1,570,000	1,142,517	427,483		
		設備費	150,000	19,330	130,670		
		小計	3,890,000	2,325,174	1,564,826		
	事業経費	印刷代	2,200,000	1,302,183	897,817		
		要覧印刷代	550,000	0	550,000		
		通信費	1,000,000	563,068	436,932		
		春季大会補助金	500,000	0	500,000		
		臨床検査振興セミナー費	850,000	915,866	-65,866		
		教育セミナー補助	850,000	657,897	192,103		
		会議費	1,000,000	730,709	269,291		
		交通費	70,000	8,020	61,980		
		宿泊費	20,000	10,000	10,000		
		原稿料	100,000	40,000	60,000		
		HP 維持費	170,000	124,929	45,071		
		JCCLS 会費	50,000	50,000	0		
		WASPALM 会費	40,000	45,768	-5,768		
		臨床検査振興協議会	300,000	300,000	0		
		内保連	100,000	100,000	0		
		予備費	20,000	0	20,000		
		小計	7,820,000	4,848,440	2,971,560		
		出金合計			11,710,000	7,173,614	4,536,386